



🌻 令和4（2022）年 3学期のスタート

あけましておめでとうございます。

いよいよ3学期が始まりました。令和3年度も残すところ3か月を切り、ここでのがんばりが令和4年度への大事なステップになると捉えています。12月に実施した全学年での標準学力調査の結果が返ってきましたら、課題を洗い出し、全教職員で共有しながら今年度中に身に付けさせるべき学習の定着を目指したいと考えています。

6年生にとっては、小学校生活最後の学期です。残りわずかとなった委員会活動やクラブ活動、縦割り掃除やきずな集会に向けての準備など、3月18日の卒業式に向けて、海田小学校で学んだこと、身に付けたことの全ての力を発揮して、思い出をつくってもらいたいと思います。

【始業式の言葉】

みなさん、あけましておめでとうございます。

今日から3学期が始まりました。今年の冬休みは、天気がよくて暖かい日が多かったので、外で遊んだりお出かけしたりすることが多かったのではないのでしょうか。

さて、3学期が始まるに当たり、みなさんに本を読むことの大切さを改めて話しておきたいと思っています。

1月4日の中国新聞に、大学生でありながら、プロの作家として小説を書いている宇佐見りんさんのことが載っていました。宇佐見さんは、20歳で物語を書く作家デビューしまだ2年のキャリアですが、三島由紀夫賞や芥川賞といった文学作品の大きな賞を次々と受賞し、若手作家として活躍されています。

そんな現在の宇佐見さんをつくった10冊の本、というのが紹介されていました。

物語を作る作家さんなので、これまでに読んで影響を受けた本もいろいろな作家さんの本が紹介されていました。高学年の人なら知っている夏目漱石や村上龍の本なども挙げられていました。

私も心に残る10冊の本を挙げるとなるとどんな本だろうかと考えてみました。小学校や中学校の時は宇宙が好きで、星や天体の本をかなり読みました。高校生のときはSFや歴史物語をたくさん読んだ記憶があります。

みなさんも、自分が好きなジャンルが必ずあると思います。物語だけでなく、昆虫や恐竜など興味のあるものに関係した本が図書室にはたくさんあります。

3学期は短いですが、ぜひいろいろな本を読んで、これからの自分をつくる本をできるだけたくさん見つけてください。

最後に、引き続き新型コロナウイルス感染症の予防をしっかりやってほしいというお話をします。

わずか2週間前、2学期の終業式のころは県内の感染者0人が続いていたのを覚えていますか？今はどうでしょう。全国的にオミクロン株が広がりつつあり、広島県でも感染者がまた増えています。

外から戻ったとき、トイレなどみんなが使うところに行ったとき、給食の前、いつ手洗いしたらよいのかを自分で考えて、できる予防を一人一人がするようにしてください。

それでは3学期もみんな元気に、コロナに負けないようにがんばりましょう。